



ペンテコステ

E-Mail: taniyama-cc@lagoonne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tvcc/>

発行人: 頭島光神父 編集委員: 上原敏子、上釜照美、徳永珠美

「四旬節は誰のため」

カトリック谷山教会
主任司祭 トマス頭島神父



いよいよ、2月22日の灰の水曜日から四旬節に入りました。40日間の目覚めの時、回心の時の始まりです。これを自らの信仰生活を見直す良い機会と捉え、新しい生き方のぜひチャレンジとしてみましょう。人は、どんなに年を重ね、体が衰えようとも、心は神に向かって、日々成長するものです。要は、考え次第です。いつもの通り、何の変哲もない、日常だ、と思いつめればそれまでです。何も変わりません。しかし、現実の世界は自分が考えるほど甘いものではありません。周辺の人の心も考え方も、その生き様も、どんどん変わっていきます。ふと気が付くと、自分だけが取り残されているかも知れません。いまこそ、自分の身の回り、心の中を点検してみましょう。

◆愛の御業の輝き

イエスさまは私たちに人として大切な生き方を教えて下さいました。それは人をこよなく愛するという事です。先月のペンテコステでも書きましたように、「愛とは実践すること」です。「行いの伴わない信仰は意味がない」、とパウロも書き残しています。愛も、これと全く同じで、愛するための具体的な行動なしに、愛は成し遂げられません。イエスさまの最大の愛の御業は十字架です。自分を捨てて十字架を背負い、命を捧げられたからです。私たちはただひたすら十字架の前に佇み祈るばかりです。そのキリストの十字架の上に燦然と輝くのは、神の愛のみです。



◆あなたのために

四旬節は祈り、節制、愛の業に気づき、目覚め、生き直す時です。霊の賜物が今、あなたに色々な恵みを与えようとしています。霊の賜物とは、聖霊の息吹の事です。神の息吹が風吹くようにあなたの心の中に吹いています。それは新しい風で、あなたに勇気と力を与え、愛を行わせます。いつの間にか、気づいたら愛の人に変えられていた。これが聖霊体験なのです。そうなる、ただ通りいっぺんの祈りではもう十分ではありません。主の祈り、アヴェ・マリアの祈りをと唱えるとき、前の自分とは違う私が祈ることに気づくのです。以前より心込めて祈る自分に気づきましょう。もはや、私は「あなたのために」祈る人となったのです。



◆まだやり直せる

「愛の行いを」と言っても、人は簡単には変わるものではありません。愛を実践するには、それなりにきっかけというものが、ある意味、必要であって、かのイエスの弟子たちもそうでした。ペトロを初め、イエスからガリラヤ湖で声を掛けられ、呼ばれなければ、弟子となることもなかったでしょう。また、それに心から応答したからこそ、彼らもまた愛の人になっていったわけです。彼らにとってイエスの出会いこそが、自分たちを変えるきっかけとなったのです。パウロも同じことです。直接、イエスには会ってはいませんが、復活のキリストの声を聴いて回心できたのです。そのことが大きく人生を転換させました。私たちはまだまだやり直せるはずです。

◆みことばはいつも

みことばはいつもあなたと共にあるのです。神はいつも私と共にいて離れたことはありません。神を忘れ、みことばを聞かないのは、いつも私です。気づくと、そこに神様がおられたことに驚くばかりの私です。みことばも、いつも耳の奥底で響いていたのに、その声に目覚めていなかったのは私でした。聖書を開くと、そこにイエスの言葉があったのに、わかってなかった。あらためて読み込んでみると、そこに私が探し求めていた答えがあることに気づくのです。みことばはあなたから離れません。実る時が来るまで、じっと待っていて下さいます。

十
LENT
- 40 Days Of Renewal -

3月の教会暦より

「隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる。」(マタイ6-18)

今年は2月22日灰の水曜日より四旬節に入りました。

7日 聖ペルペトゥア聖フェリチタス殉教者(記念日)

(?~203年)

ローマ皇帝のキリスト教迫害下に、北アフリカのカルタゴで5人のキリスト教志願者が捕えられた。その中に2人の女性、ペルペトゥアとフェリチタスがいた。

貴族出身のペルペトゥアは乳飲み子がいる22歳の婦人であり、フェリチタスも妊娠中の奴隷であった。

5人をキリスト教に導いた宣教師サトルスも、後から捕えられた。5人の求道者は監禁されている間に洗礼を受け、すぐに投獄された。ペルペトゥアは、棄教するようとの父親からの説得を拒み、牢獄を宮殿と書き残している。裁判の結果、全員に死刑の判決が下され、猛獣の餌食となる刑を受け、殉教した。

ペルペトゥアの殉教録は、3~4世紀のキリスト者の殉教観を見る上で貴重な資料となっており、古代・中世をとおして影響を与えた。

-女子パウロ会聖人カレンダーより-

教訓

これらの聖殉教者、殊に聖女ペルペトゥアの深い信仰を見れば、我等も如何なる艱難の時にも天主を信ずる旨を勇ましく言い現し、かつ終わりまで信仰を守る為に「願わくは我等の信仰を増し給え！」(ルカ17-5)と祈らずにはいられまい。

-そよかぜカレンダーより-



9日 聖フランシスカ(ローマ)修道女(記念日)

(1384年~1440年)

フランシスカは、ローマの貴族の家に生まれ、信仰深く育てられた。幼いころから、修道院に入って神に生涯をさげたいという望みを抱いたが、13歳のときに両親の望みに従ってロレンツォ・ポンチオニという裕福な貴族の青年と結婚した。6人の子どもに恵まれ、妻として母として理想的な家庭を築いた。

ローマが1400年からの内戦によって荒廃していたとき

には、義理の姉とともに貧しい人々の救済や、病人の看護に献身的に当たった。フランシスカのもとに、志をともにしたいとする婦人たちが集まり、1425年に、貧しい人々を救済するための会「トル・デ・スペキ女子修道会」を創立した。フランシスカは修道会を会外から指導していたが、1436年夫の死を機に自らも共同体で生活を始め、修道院長として亡くなるまで会員を導いた。

彼女はしばしば神秘体験をし、守護の天使と親しく語ったといわれる。息を引き取る前にも、「天使が後についてきなさい、と手招きしています」と言ったと伝えられている。

-女子パウロ会聖人カレンダーより-



丹後の教会訪問記(1)

京都教区に、レデンプトール会の神父様方によって司牧されている教会があるのをご存じですか。昨年の夏、それらの教会を訪ねる機会に恵まれましたので、そのときのできごとや思ったこと、感じたことなどを何回かに分けてわかちあえらと思ひます。

京都教区は京都府、滋賀県、奈良県、三重県からなっていて、そのうち、京都府北部の丹後地区をレデンプトール会の神父様方が担当されています。現在は丹後教会、西舞鶴教会、東舞鶴教会の3つですが、丹後教会は1つの小教区に6つの聖堂をもつわたしたちから見ればめずらしい小教区、でも京都教区ではめずらしくないあり方のようです。もともと別々の小教区だったのを1つにしたとのこと。

福知山という京都府北部の中心地から、京都丹後鉄道という第3セクターの鉄道に乗ります。ちょうど網野行きの特急に乗ることができました。終点の網野が第1の目的地、丹後教会網野聖堂があるところです。途中、宮津で10分ほど停車するので、一度降りて駅のコインロッカーに大きな荷物は預けておきました。福知山から1時間ちょっとで網野着。今回の訪問は基本歩いて各聖堂を巡るという巡礼が目的なので、網野駅から網野聖堂に向けて歩きはじめます。駅前に案内看板などはなく、ともかく網野の街の中心をめざして進みます。京都教区のホームページに駅から聖堂までの地図があって、それを印刷してきたのですがあまり参考にはなりません。結局スマホのマップを頼ることになってしまいました。30分ほど歩いたでしょうか、網野聖堂を発見。1階部分は地区の集会所や役場の案内所のような感じですが、正面2階に MARIA 像、屋根の上に十字架。入口はさほど大きくはないのですが、奥行きがあって教会としての存在感は大。残念ながら鍵がかかっていて、ご聖体訪問はできませんでした。ミサは週に1回だけ宮津から神父様がお見えになります。聖堂の裏に回ってみると、結構広い庭。幼稚園のグラウンドほどの庭の正面位置に聖母子像。この広い庭はかつてどんな風に使われていたのだろうか、と想像してしまいました。こどもたちの運動会やバザーなどのイベントに十分な広さです。これだけの庭や建物を維持していくのも大変だなあと感じました。網野の信徒の皆様への聖堂を保ちたいという思いを感じることができました。(写真は裏庭から見る網野聖堂)

岩崎正幸

9班の岩崎さんが素敵なエッセイを寄せてくださいました。7・8回の連載になります。



2023年3月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

◆2月22日の灰の水曜日から四旬節に入りました。この40日間は私たちの小教区テーマ「ひとり一人を認め、尊重し、愛する」を実践しましょう。巻頭言にも書きましたように、聖霊の息吹を感じて、イエスが教える隣人愛と相互愛を現実の生活に生かしましょう。四旬節期間中は、とにかく祈りです。そして生活においてはあらゆる事柄に対して節制、節約、儉約を心がけましょう。深く黙想し、愛する心を見つめ直し、育てていきましょう。

さて、コロナ禍も少しずつ納まるような気配をすら感じる今日このごろですが、感染症対策として最低限の手指消毒と検温及びマスク着用にご協力をお願いします。以下、3月のミサ典礼の朗読先唱奉仕です。よろしく、ご協力を願います。

◆ 入堂前の手指消毒及びマスク着用と検温にご協力をお願いします。

◆ 聖堂内への入場制限はありません。泣部屋は子ども連れ家族のみとします。

◆ 聖堂内では白印を前にご着席ください!換気、加湿はこれまで通り続けます。

◆ 聖体拝領は一列に並び、前後1m程度、間隔を空けゆっくりとお進みください。



■ 3月の典礼の朗読及び先唱の役割分担は以下の通りです。

◇ 3月5日 四旬節第2主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 5/11班

◇ 3月12日 四旬節第3主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 6/7班

◇ 3月19日 四旬節第4主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 8/9班

◇ 3月26日 四旬節第5主日 午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕 ● 10班

★新しい典礼式文も、かなり定着してきたように感じます。最初は違和感もありましたが、いまではそうでもなくなってきました。ミサ曲は、まだAのみですが、B,Cもあるのです。この四旬節期間中に練習して、バリエーションを増やしたいのです。典礼委員会で検討しながら前に進めていきたいと思えます。その節は、ご協力、よろしくお願いたします。地の塩、世の光となって、キリストのうちに一つとなる恵みと回心の恵みを願い求めましょう。神に感謝!

2023/3/1 主任司祭 トマス頭島光

追悼ミサ

2023年2月11日(土)
14:00 谷山教会にて



1941/1/17～2022/12/21
(享年 81 歳)

2022年12月21日ドイツでお亡くなりになられた故・ヨセフ・バルタザル・ムイベルガ神父様の追悼ミサが中野裕明司教様レデンプトール会司祭の司式により執り行われた。51年間、日本の、鹿児島での福音宣教にご尽力下さった ムイベルガ神父様の永遠の安息を願い祈りを捧げた。 広報部 上原

聖アルフォンソ合唱団の皆様

写真・上釜照美



左から末吉神父、ボスコ神父、中野司教、頭島神父、井上管区長、メニヒ神父 敬称略

第3回 蚤の市 2月5日

よく頑張りました。出店された方、買って下さった方、ありがとう!



令和5年(2023年)谷山教会03月の予定と祝日表(03月01日~03月31日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	水	19:00 召命ミサ			
2日	木	6:30 朝ミサ			
3日	金	19:00 初金ミサ/ミサ後 19:30~十字架の道行き			
4日	土	19:00~20:30 四旬節第2主日のミサ/黙想会・講話といやし 指導司祭		⑤⑪	教会
5日	日	6:30&9:00 四旬節第2主日/黙想会・聖書の分かち合い ポスコ神父様	⑤⑪		
6日	月	6:30 朝ミサ			
7日	火	6:30 朝ミサ			
8日	水	19:00 召命ミサ <求道者勉強会VIIシーズン>13			
9日	木	6:30 朝ミサ *18:30~典礼委員会			
10日	金	6:30 朝ミサ *性虐待被害者の為の祈りと償いの日 *19:00~十字架の道行き			
11日	土	19:00 四旬節第3主日のミサ *ひまわり幼稚園卒園式		⑥⑦	教会
12日	日	6:30&9:00 四旬節第3主日/洗礼志願式 *15:00~教会役員会	⑥⑦		
13日	月	6:30 朝ミサ			
14日	火	6:30 朝ミサ			
15日	水	祝日 19:00 聖クレメンス・マリア・ホフバウアー (レデンプトル会聖人) 召命ミサ			
16日	木	6:30 朝ミサ			
17日	金	祝日 6:30 日本の信徒発見の聖母 主任司祭:レデンプトリスチン西都訪問 朝ミサ *19:00~十字架の道行き			
18日	土	19:00 四旬節第4主日のミサ *司牧評議会設営8・9班		⑧⑨	
19日	日	6:30&9:00 四旬節第4主日/ミサ後司牧評議会/14:00~ コミチウム	⑧⑨		
20日	月	祭日 6:30 聖ヨセフ 朝ミサ 主任司祭:東京へ出張			
21日	火	朝ミサなし 春分の日			
22日	水	19:00 召命ミサ <求道者勉強会VIIシーズン>14			
23日	木	6:30 朝ミサ			
24日	金	6:30 朝ミサ *19:00~十字架の道行き			
25日	土	祭日 19:00 神のお告げ 四旬節第5主日のミサ		⑩	
26日	日	6:30&9:00 四旬節第5主日	⑩		
27日	月	6:30 朝ミサ			
28日	火	6:30 朝ミサ			
29日	水	19:00 召命ミサ			
30日	木	6:30 朝ミサ 主任司祭:長崎へ出張			
31日	金	朝ミサなし *19:00~十字架の道行き			

今月の行事当番班は1班です。



Sr・浦田カズ代絵画集より

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	7, 14, 21, 28日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00~	1, 8, 15, 22, 29日
聖書と教理-II	毎週金曜日 10:00~12:00	3, 10, 17, 24, 31日